

未来へつながる確かな安心をお届けします

肥後保険企画

2023年8月132号（毎月1回発行）

発行：肥後保険企画株式会社 監修：渡辺 時貞

〒860-0843 熊本市中央区草葉町4-20 富士火災熊本ビル1F

Tel 096-342-6233 Fax 096-342-6390 URL <http://www.higohoken.co.jp>

定期便

check



©2010熊本県くまモン

日々の営業活動のなかで、ご縁をいただいた方々にお届けしています。

お忙しい毎日の“一息”としてお読みいただけましたら幸いです。

いつも

ありがとうございます



こんにちは！渡辺です。いつも定期便をご覧いただきありがとうございます。

今置かれている状況を正しく把握し、今後の流れを予見しながら自社の目標を明確にするのが経営者の仕事です。

そもそも達成不可能な目標を立てるといのは論外ですが、願望と客観的事実を区別する必要があります。

目標である以上多くは容易に達成できませんが、客観的事実に照らして、実現の可能性があるかは絶えず検証が必要です。願望や意志だけでは十分ではありません。時には目標そのものを撤回することもありえます。努力しても目標を達成できないことが明らかになったらその時点で撤収するしかありません。経営者にはこの決断の勇氣も必要だと思っています。

弊社では月に2回、アクションラーニングという組織学習を取り入れています。やり方はシンプルで、一人一人が目標をポストイットに記入し、ボードに貼って発表します。そして半月後には「Proud」「Sorry」「Try」「Help」の項目ごとに結果をまた同じように発表し合うというものです。

発表ごとに感想や意見を出し合うことで、皆で共有できて最近はとてもチームワークがとれています。



アクションラーニング

生命保険お役立ち一口情報

ご加入中の保険の内容を覚えていますか？契約時にはきちんと理解したつもりでも、長い期間が経つと記憶も薄れてしまいがちです。



保険見直しの第一歩は、加入している保険の内容をチェックすることから始めましょう。多くの人が加入している保険は、定期保険特約付終身保険や自由設計型保険（アカウント型保険）です。この2つの商品は、たくさんの特約を組み合わせることで成り立っています。

保険証券を読み解くポイントは3つです。①保険金：どんなときにいくらもらえるか②保険料：いくらをいつまで払うのか③保険期間：いつまであるか。ポイントは病気による死亡保険金を調べる。死亡原因は圧倒的に病気が多いからです。保険の見直しで適正な保障を確保しましょう。

今月のお届け
絵はがき



手書きなので枚数に限りはありますが、絵はがきをお届けしています。

これまでに龍画はがきを5枚描きました。和龍に近い画ばかりでしたので、今回は西洋龍（ドラゴン）と和龍の中間のようなちょっとおしゃれな感じに仕上がればと背景を黒にしてみました。

やっぱり勢いをつけたい、パワーをもらいたいときは龍に限ると思います。水をつかさどる龍は海や川の安全を守り田畑に恵の雨を降らせるといわれ、運氣上昇と強い開運力のご利益があります。



働く女性のがん治療費事情 出費は男性より膨らみやすい?



国立がん研究センターの統計では、日本人が一生のうちのがんと診断される確率は男性が65.5%、女性が51.2%と男性の方が高くなっています。

ところが、20~50代では女性の方が多く、特に30~40代は男性の2倍以上です。また仕事を持ちながらがんで通院する人は44.8万人で、約6割を女性が占めています。60歳未満に限っては女性が男性の3倍以上になります。これらのことから女性は男性より早めにかん治療に備える必要がありそうです。



現在、女性の罹患で最も多いのは乳がんで、約9人に1人がかかるとされています。医療費を見ると、高額療養費制度を利用でき

れば、10万円未満で収まるケースもありそうですが、差額ベッド代や食事代の一部といったその他のお金や交通費、ウィッグ(医療用かつら)なども必要になりますので、1年目は治療費として50~100万円、さらに収入減にも備えるなら生活費3~6か月分の預貯金の準備がほしいところです。

健保では傷病手当金やウィッグの費用を補助する自治体もありますのでこうした制度を知ったうえで蓄えが足りなかったり、治療が長引くのが不安だったりするなら民間の保険が選択肢となります。

女性向けの医療保険では、女性特有や女性に多い病気に対する保障を手厚くした商品も多くあります。

肥後保険登山倶楽部



こんにちは、登山倶楽部の萩尾です。今回ご紹介するのは「山道具」です。一言で登山というと、日本では整備された登山道を歩いて山頂へたどり着くというイメージでしょうか?

しかしこれは登山の発祥の地のヨーロッパではハイキングもしくはトレッキングという分類にあたり登山ではないんです。本場では「登山=クライミング」。そう、ヨーロッパアルプスやエベレスト等の過酷な山登りのことを登山と言うんです。

私も登山家の端くれですのでとりあえずはクライミングの装備はひと通り揃えています。クランポン、アックス、クイックドロ、ハーネス、ロープ、カム、ハンマー、スリング……。雪山や岩登りは基本をしっかりと習得しないと命を落とします。何かあってお客様へご不便をかけてはいけないので無茶しない程度に楽しむようにしています。



山道具の数々

スタッフ通信



6月のメンタルヘルス研修に続いて先月は、全社員向けに「生活習慣病・熱中症・食中毒についての予防と対策」を熊本県社会保険協会の栗崎保健師を講師に招いてお話いただきました。

驚いたのは、熊本県は糖尿病を起因とする人工透析患者数が全国2位とのこと。現在、熊本県民の中高世代4人に1人が糖尿病有病者・予備軍だそうです。

糖尿病は放置すると様々な合併症が起こりやすいので、定期健康診断はもちろんのこと、運動して常に汗をかく体調に整えておくことや睡眠(休養)をしっかりと確保することは生活習慣病対策になり、さらには熱中症対策にもつながるそうです。



保健師による講習会

また、この時期は食中毒も気になります。手洗いの徹底以外にも家庭での食品管理の際の細菌やウイルス対策も教わり、みんな熱心に聞いていました。

人類滅亡の科学「滅びのシナリオ」と「回避する方法」



本書は私たちが日常生活では考えもしないような壊滅的なシナリオの中にあることを、如実に突きつけてきます。これは近未来の日本で最大の自然災害と予想されている南海トラフ巨大地震への対処と全く同じ構造で、喫緊の課題です。危機を冷静に分析し、正しく恐れる大切さを学べた一冊でした。

定期購読しているナシヨジョからの出版だったのでとりあえず手に取ってみました。国連は昨年、世界人口が80億人を突破する推計を発表しましたが、今後人類が直面する滅びのシナリオ25項目を取り上げ、科学的根拠と回避する方法を提示したのが本書です。カラーの図解を多用し、初心者でも理解できる工夫が随所に見られ、災害に関する優れた入門書ともいえます。